

のびやかな歌声とパフォーマンスで 全国大会の切符を手にな!

ルルルルー♪
ルルルルー♪

「第33回 全日本おかあさんコーラス全国大会」

出場決定

いわみコーラスのみなさん



西岡恵子先生が楽しく指導

「ルルルルー♪」。のびやかで軽快な歌声が講堂に響き渡る。ひと節ひと節丁寧に心を込めて歌い上げていく。30代～80代が集まって活動しているいわみコーラスのみなさん。活動を開始して23年目となります。みなさん本当に仲がよく、和やかな練習風景。

いわみコーラスのみなさんは、6月27日(日)に開催された『全日本おかあさんコーラス中国支部鳥取大会』で全国大会出場が決定しました。18チームの中から選ばれ、2度目の出場となります。

代表者の稲葉扶美子さんは、「パフォーマンスに磨きをかけ、田村虎蔵先生を全国にPRしたい。また、ジオパークについてもPRし、岩美のすばらしさを伝えたい。」と全国大会への抱負を語ります。

いわみコーラスのみなさんの、のびやかな歌声とパフォーマンスは、人々の意識の中に働きかけ、岩美の美しさやすばらしさをきっと伝えてくれることでしょう。全国大会での活躍を期待しています。



町無形民俗文化財に指定

陸上の墓踊り

～陸上墓踊り保存会～

7月30日(金) 陸上の墓踊りが、町無形民俗文化財に指定されました。町文化財としては20件目、無形民俗文化財としては初めての指定となります。

亡き人を偲ぶ盆踊りは、町内でも各集落で行われていますが、陸上の盆踊りはちょっと珍しい。初盆の人の墓を取り囲んで踊ります。



陸上の墓踊り

8月14日(土) 午後7時30分～

陸上の初盆を迎える西側のお墓から墓踊りを開始します。どなたでも参加できます。にぎやかな太鼓の音などが聞こえる方に越してください。

この墓踊りが、どのように始まったのかは定かではありませんが、江戸末期から明治初期頃だと考えられています。仏教と踊りとの関係は、平安中期・空也上人の踊念仏や、鎌倉中期の時宗開祖・一遍上人の踊念仏などがよく知られています。墓場で踊る踊りは古い起源を持っていると考えられ、陸上の墓踊りは重要なものと言えます。

町無形民俗文化財に指定されたことにあたり、「よりいっそうがんばっていきたい。」と陸上自治会小山会長は意気込んでいます。古くから伝わる伝統文化は岩美の宝。ぜひ、町民一丸となって守っていききたいものです。

